

DCとはDefined Contributionの略=確定拠出年金のことです。

平成17年 2月25日

当社では本年7月1日より、新しい退職給付制度を導入いたします。また、これに先行して総合型確定拠出年金を同4月1日より導入いたしますのでお知らせいたします。

新退職給付制度の導入について

当社は、社員の退職後のライフプランをより着実にサポートするため、および実績評価による人事・報酬制度改定の一環として、平成17年7月に新退職給付制度を導入することを決議いたしましたので、お知らせします。

1. 目的

当社の新退職給付制度は、従来の年功型算定方法を改め納得性を高めた実績型算定方法を導入し、また、給付方法については、一定の自由度を持たせたハイブリッド制度を導入することで、社員の退職後のライフプランを着実にサポートすることを主たる目的としています。また、確定給付企業年金法、確定拠出年金法、及び日本証券業厚生年金基金の解散にも対応させた制度とすると共に、退職給付債務抑制による財務体質健全化への対応も実施します。

2. 新制度の概要

(1) 退職金の算定方法

現行制度では、主に基本給、年齢、勤続年数にウェイトを置いて退職金を算定しておりましたが、新制度では、人事・報酬制度との整合性をはかり、在職期間を通して貢献度や成果をより反映した制度とし、業績評価にリンクしたポイント制退職給付制度を導入します。

(2) 退職金の給付方法

現行制度では、適格退職年金 40%、退職一時金 60%の割合で退職金を給付していましたが、新制度では、適格退職年金を廃止し、新たにキャッシュ・バランス・プランと確定拠出年金を導入します。また、日本証券業厚生年金基金の解散に対応し、プラスアルファ部分相当額を新制度に組み込みます。これにより新制度は、キャッシュ・バランス・プラン 40%、確定拠出年金 20%、退職一時金 40%の割合とする制度とします。

なお、日本証券業厚生年金基金が3月末で解散するため、これに代わる制度として総合型確定拠出年金を4月より先行して導入します。

3. 総合型確定拠出年金の概要

総合型確定拠出年金（以下「本プラン」という）は、企業ごとに年金規約を作成する単独型とは異なり、当社が代表企業となり作成した年金規約に複数の会社が共同して参加するものです。

本プランは、運営管理機関が代表企業を兼ねる証券業界としては初めてのスキームであり、当社（運営管理機関）が代表企業を兼ねることで契約・申請に伴う作業が効率化されます。これにより、参加企業は、導入コストを抑え、短期間での導入が可能となります。また、本プランは、日本証券業厚生年金基金の加入事業所が解散後の代替制度として利用可能な制度といたします。

現在、当社グループ各社及びグループ以外の証券会社等を含め約20社程度が参加を予定しており、当面、50社程度の参加企業を募ります。

<プラン概要>

プラン名	証券総合型DC岡三プラン（仮称）
代表企業	岡三証券株式会社
運営管理機関	岡三証券株式会社 （記録関連業務再委託先）日本レコード・キヒツグ・ネットワーク株式会社
資産管理機関	住友信託銀行 日本トラスティ・サービス信託銀行
運用商品	元本確保型 4商品 投資信託 16商品 （パッシブ型8商品 アクティブ型8商品） 合計 20商品

4. 財務への影響

現段階での試算によると、今回の制度改定に伴い平成18年3月期に、退職給付債務が約22億円減少する見込であります。

以上

制度への加入に関する最終決定はお客様ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。本資料は、岡三証券が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での岡三証券の判断であり、今後予告なしに変更されることがあります。